

～熟練職人の祭典～

第24回尾張名古屋の職人展

9月28日～30日



今年も「この道ひとすじ」と題した、尾張名古屋の職人展が9月28日(金)～30日(日)の3日間、名古屋市中区栄のオアシス21とNHK放送センターにおいて開催された。県内59の団体・個人と名古屋市が出展、伝統的熟練職人



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

今年も「この道ひとすじ」と題した、尾張名古屋の職人展が9月28日(金)～30日(日)の3日間、名古屋市中区栄のオアシス21とNHK放送センターにおいて開催された。

の技術を広く一般の人達に触れてもらうために各ブースに於いて実演・体験コーナーを設けていた。又、中央ステージに於いて、出展団体の実演とデモンストレーションが行われていた。愛知県板金も例年の如く名古屋板金連合会が担当して出展した。昨年はステージでの銅板一文字回算きの実演が行われたが、今回は諸般の事情により取り止めとなった。愛知県板金のブースに於いて

はファインスチールによる屋根・外壁のリフォーム相談コーナーを設けてファインスチールの普及活動をしたり、若手板金技能者の「中川・港支部の佐々木君」による全国技能競技大会の課題である銅板製手桶の製作実演が行われた。見学者の中にはこの作品が入っている人もいた。又、例年の銅板折鶴・亀と竹筒花器にカエルが加わった製作実演販売もなかなか好評だった。

▶愛知県板金のブース



▶販売用の蛙の置物



各日に担当した支部

27日(木) 搬入 役員全員

28日(金) 西支部3名

中川・港支部3名

中支部1名

29日(土) 瑞穂支部2名

東北支部4名

熱田・南支部2名

緑支部3名

協力者2名

30日(日) 中村支部2名

昭和支部3名

千種支部2名

協力者2名

役員全員
伊藤(熱田・南)

西三板金連合会

救命講習会

西三板金連合会では今年度も9月16日(日)午前9時から12時までの3時間、安城消防署において救命講習会を開きました。今回は組合員本人だけでなく、奥さんや娘さんの参加もあり21名が受講しました。

この講習は、突然、心臓や呼吸が止まってしまった人の命を救う救命処置を学ぶものです。具体的には、人工呼吸と心臓マッサージのやり方、そしてAED(自動体外式除細動器)の使用法を教わりました。

受講者の半数近くが二度目、三度目の受講で、初体験の人が実習で戸惑っているとアドバイスして



▶ 家族で受講

くれる場面もあり、和気あいあいの楽しい講習でした。

人工呼吸と心臓マッサージのやり方については時々変更があるそ



▶ 電気ショックします

離れて下さい



▶ 電気ショックの後も

心臓マッサージを続けます

うで、感染症予防のため、知らない人への口対口人工呼吸は感染防護具の使用なしにはするべきではないとの事でした。心臓マッサージに関しては、圧迫する位置が乳首と乳首の中間に変わり、これは覚え易くなりました。

心臓や呼吸が止まった人を救う

.....

尾張板金連合会 ボーリング大会

9月9日(日)、豊山町のわくわくボウルに於いて毎年恒例のボーリング大会が開催された。

組合員、及びその従業員、家族など、124名が参加しゲームを楽しんだ。

午前10時、平野尾張連合会長が挨拶され、続いて細野前会長の始球式の後、いっせい



▶ あいさつする平野会長

には1分一秒を争います。救急車が来るまで何もせず手をこまねいていては、助かる命も助けられないかもしれません。西三板金連合会は今後もこの救命講習会を開く予定です。是非受講してください。

高橋(碧南支部)

.....



▶ ストライクを取るわヨ

に練習が始まった。職人が多いため毎年大きな指にあった球を捜すのに苦労していたが、今年からすべて新しい球に変わりました。サイズも豊富で気分よくプレイできた。



▶ 優勝 神田さん(中央)

2位 河野さん(左) 3位 馬場さん(右)

個人成績

優勝 神田英一 一宮 426
2位 河野雄治 西春 366
3位 馬場良一 一宮 357

飛び賞は今年も順位の末尾が、0と5の人が手にすることができた。最後に参加賞が配られ解散となった。

猪飼(津島支部)

ハイゲーム

神田英一 一宮 229

支部対抗

優勝 一宮支部

広いホールには、楽しい笑い声や歓声が響き渡っていた。すべての参加者が2ゲームを終え、表彰式に移り、各賞が発表された。

高柳三郎氏 黄綬褒章受章祝賀会



今年の春の褒章で、業務に励み他の模範となった人に贈られる黄綬褒章を岡崎支部、(有)高柳板金工業常務の高柳三郎氏(58歳)が受章された。

それを祝う会が9月24日(月)「岡崎ニューグランドホテル」で開かれ、親戚、恩師、同級生、従業員、そして三郎氏と親交のある多くの板金業者が出席した。

主催者を代表して訓練校の同期生である山本和義氏が挨拶し、今回の受章理由と三郎氏の人となり、を次のように語った。



▶ 高柳三郎氏御夫妻



▶ 祝賀会風景



▶ 家族そろってあいさつ廻り

氏の代表的な仕事には名古屋控訴院地方裁判所(現・名古屋高等裁判所)や豊川稲荷豊川閣総門の屋根葺き替え工事がある。そしてこれまでに建設大臣顕彰(建設マイスター)、愛知県知事表彰(優秀技能者)、厚生労働大臣表彰(卓越技能章)を受章している。又、氏は若い頃から現在も彫金、鍛金な

どの技能習得のために先輩の元に通っている。そしてその技術を自分だけの物とせず、訓練校において後輩に伝承している。指導にあたっては決して怒らず、常に温かな態度である。山本氏は「今までほとんど団体の役職者が受章されてきたが、今回58歳の三郎氏の受章は若い人の励みになる。」と述

豊田支部青年部

豊田産業フェスティバル参加

豊田支部青年部は9月22日(土)・23日(日)に豊田スタジアムで開催された「豊田産業フェスティバル」に、豊田加茂建設連合協同組合板金支部として出店参加しました。これは地元のみならずさまざまな産業のPRや農産品の即売会などが行われるイベントです。

今回の出店は3年目となり、1日目7名、2日目8名の部員が参加し、出店内容、役割分担等がしっかりしてきました。

出店内容は子供でも出来る「銅板レリーフ」、堅樋を使って作った「輪投げ」、「フリーマーケット」です。

「銅板レリーフ」は、0.15ミリの銅板にビカチュウやモリゾー・キッコロ等のキャラクターの絵を張り、割り箸を使って線をなぞり、裏面から浮き出させたい部分です

りこぎ棒の小さい物でこすると出来る簡単な物です。

子供達はそれぞれ好きなキャラクターを選び、思い出の一枚を作り楽しんでた。

銅板素地のクリアラッカー仕上げなら300円、硫化着色仕上げまですると500円の料金を頂き、2日間で約60枚を売上げた。着色までを希望されるお客様が多く、青年部員が色付け作業をしましたが、休み暇も無く作業に追われました。

「輪投げ」は45パイから90パイまでの堅樋を300ミリ程度に切り、コパンネに打ちつけ、VP125のパイプを輪切りにして輪に見立てて投げてもらった。コーヒールのおまけやぬいぐるみ等を景品にし、1回100円で4投という価格がうけて、皆大当たり狙いに必死だった。

「フリーマーケット」は今年から

べ、挨拶を締め括った。

祝宴では三郎氏の娘さん二人が壇上で祝いの踊りと三味線を披露し、会の雰囲気盛り上げた。

各テーブルには山本文一氏製作の彫金の花が飾られていたが、この作品はテーブル毎の抽選で、当選者のお持ち帰りとなった。

高橋(碧南支部)

の出店だったが、青年部員がスキー板やミニコンポ等を持ちより、数点売れて、来年からの自信にも繋がった。

土曜日よりも日曜日の方がイベント自体の人出も多く、盛況に終わった今年の産業フェスティバル。「お金儲け」に固執するのでは無く、1人でも多くの人に、銅板、板金業に触れ合い、知ってもらえたらいいなと思う。そのために来年以降も豊田支部青年部は努力を惜しまない。

赤池(豊田支部)



▶ 豊田支部青年部ブース

遮熱ヘルメットを共同購入

西三板金連合会

今年の初夏に当連合会のある役員が新聞記事で特殊塗装により帽子内部の温度上昇を抑える遮熱ヘルメットの新発売を知り、それを取り寄せて試着したところ、従来のヘルメットと比べてある程度帽子内の温度が低くなるのが確認できました。

そこで、これからの酷暑の季節、少しでも会員の皆さんがヘルメット着用時の不快感を減らしていた

だき、安全作業が出来ることを願

い、7月30日の当連合会三役会にて遮熱ヘルメットの共同購入を決めました。

注文数が約70個あり、早速販売店に注文しましたが納期が一月以上かかってしまい、皆さんの元に届くのが9月下旬になってしまいました。

価格は三千二百五十円(税込)色は白色に限定効果の面によ

外壁からの雨漏り、急増中!!

ある雑誌に、住宅保証機構がまとめた雨漏りの保証事故の統計が掲載されていた。

2006年の合計は543件で、「屋根の雨漏り」が81件。対して「壁の雨漏り」は462件と屋根の5倍以上もある。屋根、外壁を施工する我々建築板金屋としては、多少驚きの数値である。ここ数年、「壁の雨漏り」が大幅な勢いで増えている。

その背景として、住宅のデザインを優先する事により、屋根の軒を十分に出さないとか、窓上の庇

(ギリヨケ)をつけないなどの、設計上の問題を上げている。ある大学教授の実験では、屋根の軒の出を15cm長くすれば、外壁の雨がかかる部が25%減少するといったデータもある様だ。

しかし、外壁に多くの雨が当たっても、雨仕舞や防水が完璧に施工されていれば雨漏りは発生しないはずだ。

雨漏りの事例では、原因の多くは施工者の知識不足による施工不良を指摘している。また、設計時の雨仕舞への配慮の甘さが施工不

り)正面に支部のマーク入り(無い支部は愛知県板のマーク)片側面に事業所名入り青の一本ライン入り



良による被害を助長したとし、さらに「職人任せ」になりがちな工事管理の問題もあげている。我々は、雨仕舞のプロとして、どのような現場を任せられても、「知識が豊富で、確かな技術のあの板金屋に任せておけば大丈夫!!」と言われる様な、責任とプライドのある建築板金職人を目指したいものだ。



M(東三支部)

9月各支部の動き

名古屋板金連合会

28日・30日

「尾張名古屋の職人展」出展

中村支部	25日 定例会	11名
瑞穂支部	・ 第三者賠償保険等の説明	
熱田・南支部	8日 常会	11名
中川・港支部	・ 新支部員紹介、他	
尾張板金連合会	1日 定例会	19名
春日井支部	20日 定例会	8名
津島支部	25日 定例会	20名
小牧支部	9日 親睦ボーリング大会124名	
西三板金連合会	(小牧わくわくボール)	
救急講習会	11日 定例会	10名
役員会	5日 定例会	15名
遮熱ヘルメット	9日 支部会	10名
共同購入の商品配布	16日 支部会	21名
岡崎支部	18日 救命講習会	33名
役員会	22日 役員会	70ヶ
建専連総合補償制度の件	7日 役員会	23名
西三各種報告、他	・ 建専連総合補償制度の件	
碧南支部	・ 県板、西三各種報告、他	
損保ジャパン説明会	4日 損保ジャパン説明会	8名
集団検診	14日 集団検診	21名
青年部定例会	19日 青年部定例会	
刈谷支部	9日 パーベキュー大会	10名
西尾支部	12日 役員会	19名
理事会報告、他	・ 理事会報告、他	
集団検診	27・28日 集団検診	30名
東三支部	21日 三役会	7名

編集後記

人生長くやっていると悔いを残したことが山とある。失敗の後、しばらくは後悔の念で悩んだりクヨクヨしたりする。しかし時が経つに連れ、薄れてきたり、あの時はそうするしかなかったとか、二度と繰り返さないための教訓になったかと思つて正当化している。そうでなければ人間生きていけない。

昨日も後悔したことがある。青年部当時から飲み友達が突然亡くなったからだ。ここ二年半位会つていなかった。彼も私も家庭内に事情があり、お互いに飲みに誘う機会が無かった。時々「どうしているだろうか、悩みを聞いてやりたい」と思うことがあった。同じような悩みを持つ私なら彼の気持ち少しは癒してやれたかもしれないからだ。

「飲みに誘う機会が無かった」というのは、今にしてみれば言い訳に思える。真に会おうと思つたなら、なんとか都合が出来たはずだ。くやしい。

高橋

十月一日(月) 曇り時々小雨
四三二一 編集会議
広報委員 七名出席
午後二時半開会 四時五十分閉会